

石炭灰有効利用シンポジウム2019 開催案内

主 催： 一般財団法人石炭エネルギーセンター

後 援： 経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、
日本フライアッシュ協会

JCOALは、国際的な石炭供給の増大と地球環境に調和する石炭利用の推進を図り、わが国におけるエネルギーの安定確保・産業経済の健全な発展に寄与することを目的として、石炭の持つ資源量や経済的な優位性を温室効果ガスの排出削減という地球課題と両立させた高度利用を目指し活動を進めており、その一環として石炭灰有効利用にも取り組んでいます。

現在、CO₂削減がこれまで以上に求められると共に、バイオマス燃料の利用拡大やカーボンリサイクル、石炭灰を含む石炭バリューチェーン全体での最適化事業の重要性が増大しています。とりわけ、わが国の石炭灰発生量は年間1,200万トンを超えており、これを有効に利用・活用していくことは、低炭素化社会の構築のため、資源リサイクルを促進して天然資源の枯渇防止に寄与することなどの観点からも重要と言えます。

本シンポジウムは2003年より隔年で開催しており、今年で第9回目の開催となります。今回のシンポジウムでは、フライアッシュやGCCスラグのコンクリート分野における利用拡大と規格化への取り組みや石炭灰混合材料の土工材としての実用化と設計・指針整備のほか、石炭灰の有効利用によって低炭素化への寄与を目指した事業取り組み事例についてもご講演いただきます。

多くの皆さまの参加申込みをお待ちしております。

- 日 時： 2019(令和元)年11月28日(木) 9:30～17:50
- 会 場： 科学技術館サイエンスホール (〒102-0091東京都千代田区北の丸公園2番1号)
※アクセス → <http://www.jsf.or.jp/access/map/>
- 参加費： 会員:10,000円, 非会員:15,000円, 官公庁・大学等:無料
- 意見交換会： 無料(シンポジウム参加者)
- 参加申込： 参加申込書(<http://www.jcoal.or.jp/event/2019/10/coal-ash.html>)にご記入の上、
下記の間合せ先までメールにてお送り下さい。
- ※申込締切日 → 2019年11月21日(木) 17:00までとさせていただきます。
(定員に達し次第、締め切らせていただきます。)
- 支払方法： 専用サイトからオンラインでお支払いください。
クレジットカード決済システムの準備ができ次第、決済URLをお送りします。
- ※キャンセルポリシー → お支払い後の返金はお受けしておりません。予めご了承ください。
- 間合せ先： 〒105-0003 東京都港区西新橋三丁目2-1 Daiwa西新橋ビル3階
一般財団法人石炭エネルギーセンター 技術開発部 (竹田、角間崎)
TEL: 03-6402-6103
E-mail: coal-ash-symp(a)jcoal.or.jp
(※(a)を@にしてご使用ください。)
- 本シンポジウムは、土木学会継続教育(CPD)プログラムの認定を受けております。
※認定番号: JSCE19-1354 単位数: 6.7単位

<プログラム>

※題目や講演者等, 予告なく変更する場合がございます※

(敬称略)

セッション0：開会（9：30～10：30）

- 09:00～ 開場、受付
- 09:30～ 開会
- 09:30～09:40 主催者挨拶
一般財団法人石炭エネルギーセンター
会長 北村 雅良
- 09:40～09:50 来賓ご挨拶
(1) 経済産業省挨拶
経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 石炭課
課長 竹廣 克
(2) 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構挨拶
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 環境部
部長 田中 秀明
- 09:50～10:30 基調講演：「北陸地方におけるフライアッシュのコンクリート利用への取組み」
金沢大学 名誉教授 鳥居 和之

セッションI：コンクリート分野での利用拡大に向けた取組み（10：30～12：00） （パネルディスカッション）

- 10:30～10:50 パネリスト：「日本国内外の石炭灰の発生・利用状況」
一般財団法人石炭エネルギーセンター 大中 昭
- 10:50～11:10 パネリスト：「日本国内外における CCP 規格整備状況及び利用状況」
一般財団法人電力中央研究所 山本 武志
- 11:10～11:30 パネリスト：「石炭ガス化スラグの JIS 作成に向けた取組」
広野 IGCC パワー合同会社 松浦 忠孝
(JIS 原案作成委員会・生産者側委員)
- 11:30～12:00 パネルディスカッション
コーディネーター：
宇都宮大学 教授 (JCOAL 石炭灰有効利用委員会・委員長) 藤原 浩巳
石川工業高等専門学校 教授 (同委員会・副委員長) 福留 和人

12:00～13:00 昼食・休憩

セッションⅡ：低炭素化に寄与する石炭灰の有効利用技術（13：00～15：20）

- 13:00～13:20 講演：「カーボンリサイクルファンドの取組みについて」
一般社団法人カーボンリサイクルファンド 須山 千秋
- 13:20～13:50 講演：「CO₂-SUICOM 石炭灰利用コンクリートによる CO₂ 固定」
鹿島建設株式会社 横関 康祐
- 13:50～14:20 講演：「藻場造成効果を有する石炭灰重量ブロック材料の開発と実証試験」
電源開発株式会社 石川 学
- 14:20～14:50 講演：「CO₂低排出型コンクリート製建設資材の製造技術高度化及び実用化実証」
中川ヒューム管工業株式会社 人見 隆
- 14:50～15:20 講演：「海外カーボンリサイクル技術の実用化への取組み」
出光興産株式会社 細谷 郁雄

15:20～15:40 休憩

セッションⅢ：石炭灰混合材料の製造販売事業の現状及び普及拡大に向けた設計施工指針の整備（15：40～17:40）

- 15:40～16:10 講演：「石炭灰混合材料の概要と普及拡大に向けた設計施工指針（案）の策定への取組み」
一般財団法人電力中央研究所 井野場 誠治
（土木学会 石炭灰混合材料の利用拡大に向けた設計施工指針小委員会）
- 16:10～16:40 講演：「福島復興に向けた石炭灰利用再生砕石事業の取組み」
福島エコクリート株式会社 中村 貴司
- 16:40～17:10 講演：「中国電力における Hi ビーズを活用した底質改善事業への取組」
中国電力株式会社 中本 健二
- 17:10～17:40 講演：「石炭ガス化スラグのコンクリート用細骨材製造事業について」
東京パワーテクノロジー株式会社 辻 光俊

17:40～17:50 閉会挨拶
一般財団法人石炭エネルギーセンター
理事長 塚本 修

18:00～19:30 意見交換会（科学技術館 B1F カフェクルーズ）

以上